

調査結果の概要

[学 校 調 査]

1 大 学

(1) 学 校 数 (表 1)

学校数は765校(国立86校,公立90校,私立589校。通信教育のみを行う学校(私立6校)を除く。)で,前年度より9校増加している。

表1 大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成10	604	99	61	444	73.5
15	702	100	76	526	74.9
16	709	87	80	542	76.4
17	726	87	86	553	76.2
18	744	87	89	568	76.3
19	756	87	89	580	76.7
20	765	86	90	589	77.0

(2) 学 生 数 (表 2)

学生数は,283万5千人(男子169万5千人,女子114万人),前年度より7千人増加している。

また,学生数のうち学部学生は252万人,大学院学生は26万3千人〔修士課程{修士課程及び博士前期課程(医・歯学及び獣医学を除く一貫制博士課程を含む。)以下同じ。}16万5千人,博士課程{博士後期課程(医・歯学及び獣医学の博士課程を含む。)以下同じ。}7万4千人,専門職学位課程2万3千人〕,専攻科・別科等の学生は5万3千人となっている。

*平成15年4月創設の高度専門職業人の養成を目的とする専門職大学院の課程

学生数を設置者別にみると,国立62万4千人(学生数の22.0%),公立13万2千人(同4.7%),私立207万9千人(同73.3%)となっている。

女子学生の占める割合は40.2%で,前年度より0.4ポイント上昇している。

表2 学生数(大学)

区 分	計	うち学部			うち女子	社会人 a	女子の占 める比率	国 立	公 立	私 立
		うち学部	うち大学 院 a	うち社会人						
	人	人	人	人	人	%	%	人	人	人
平成10	2,668,086	2,428,269	178,901	...	930,871	...	34.9	617,348	95,976	1,954,762
15	2,803,980	2,509,374	231,489	35,378	1,087,431	15.3	38.8	622,404	120,463	2,061,113
16	2,809,295	2,505,923	244,024	40,988	1,100,839	16.8	39.2	624,389	122,864	2,062,042
17	2,865,051	2,508,088	254,480	45,194	1,124,900	17.8	39.3	627,850	124,910	2,112,291
18	2,859,212	2,504,885	261,049	48,609	1,127,474	18.6	39.4	628,947	127,872	2,102,393
19	2,828,708	2,514,228	262,113	51,142	1,126,751	19.5	39.8	627,402	129,592	2,071,714
20	2,835,242	2,519,727	262,687	53,667	1,139,862	20.4	40.2	623,789	131,977	2,079,476

(3) 関係学科別学部学生の構成 (表3, 図1)

学部学生の関係学科別構成比をみると、「社会科学」が35.8%で最も高く、次いで「工学」(16.3%),「人文科学」(15.6%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「薬学」、「家政」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」、「工学」、「人文科学」の比率が低下している。

(4) 専攻分野別大学院学生の構成

(表3, 図1, 図2)

大学院修士課程の専攻分野別構成比をみると、「工学」が39.5%で最も高く、次いで「社会科学」(11.4%),「理学」(8.3%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「医・歯学」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」の比率は低下してきている。

大学院博士課程の専攻分野別構成比をみると、「医・歯学」が26.7%で最も高く、次いで「工学」(18.5%),「人文科学」(10.1%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「教育」の比率は年々上昇してきているが、「理学」、「農学」の比率が低下している。

大学院専門職学位課程の専攻分野別構成比をみると、「社会科学」が90.7%で最も高く、次いで「教育」(3.1%)の順となっている。

また、大学院学生のうち、「社会人」(平成20年5月1日において職に就いている者。ただし、企業等を退職した者及び主婦等を含む。)は修士課程では2万人(男子1万人,女子1万人)で、学生数に占める割合は12.1%,博士課程では2万5千人(男子1万7千人,女子7千人)で、学生数に占める割合は33.1%,専門職学位課程では9千人(男子7千人,女子2千人)で、学生数に占める割合は39.3%となっている。これを各専攻分野ごとに「社会人」の占める割合をみると、修士課程では「社会科学」が35.4%で最も高く、次いで「教育」(29.7%)となっており、博士課程では「医・歯学」が47.5%で最も高く、次いで「工学」(33.2%)となっており、専門職学位課程では「工学」が73.0%で最も高く、次いで「医・歯学」(63.8%)となっている。

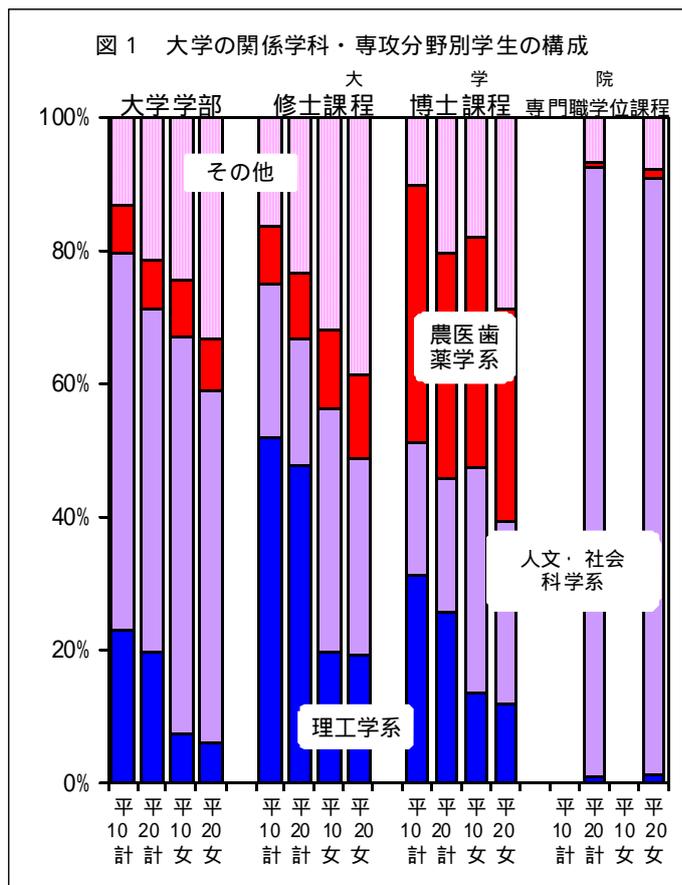


表3 関係学科・専攻分野別学生数の比率の推移 (大学・大学院)

(1) 学部学生

区分	関係学科別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成10	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
15	100.0	16.5	40.0	3.5	19.4	2.9	2.7	1.6	1.7	5.8	5.7
16	100.0	16.3	39.0	3.5	17.8	2.8	2.5	1.6	2.1	5.5	8.8
17	100.0	16.3	38.4	3.5	17.5	2.8	2.5	1.7	2.3	5.6	9.5
18	100.0	16.2	37.7	3.5	17.3	2.8	2.5	1.8	2.4	5.7	10.1
19	100.0	16.0	37.0	3.4	17.0	2.9	2.5	2.0	2.5	5.8	11.0
20	100.0	15.8	36.3	3.4	16.7	2.9	2.5	2.1	2.6	5.9	11.8
20	100.0	15.6	35.8	3.3	16.3	3.0	2.5	2.2	2.6	6.1	12.6

(2) 大学院修士課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成10	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	8.9	13.9	9.8	42.1	5.6	0.2	2.9	...	8.2	8.3
15	100.0	8.1	14.3	8.7	39.6	5.2	0.7	3.0	...	7.3	13.1
16	100.0	8.1	13.2	8.6	40.1	5.1	0.8	3.1	...	7.0	13.9
17	100.0	8.2	12.5	8.5	39.9	5.1	0.9	3.2	...	7.0	14.7
18	100.0	8.1	12.1	8.5	39.4	5.2	1.0	3.1	...	7.2	15.5
19	100.0	7.8	11.6	8.4	39.4	5.5	1.0	3.1	...	7.3	16.0
20	100.0	7.7	11.4	8.3	39.5	5.5	1.1	3.2	...	6.9	16.4

(3) 大学院博士課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成10	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	100.0	10.8	9.4	11.0	20.1	6.9	30.0	1.6	...	2.5	7.7
15	100.0	10.4	10.4	8.7	18.5	6.1	27.9	1.7	...	2.4	13.9
16	100.0	10.3	10.2	8.6	18.5	5.9	27.4	1.7	...	2.5	14.9
17	100.0	10.2	10.1	8.6	18.6	5.8	26.9	1.8	...	2.5	15.6
18	100.0	10.2	10.0	8.3	18.5	5.8	26.4	1.8	...	2.5	16.3
19	100.0	10.3	10.0	7.7	18.6	5.7	26.3	1.9	...	2.6	16.9
20	100.0	10.1	9.9	7.2	18.5	5.5	26.7	1.8	...	2.7	17.6

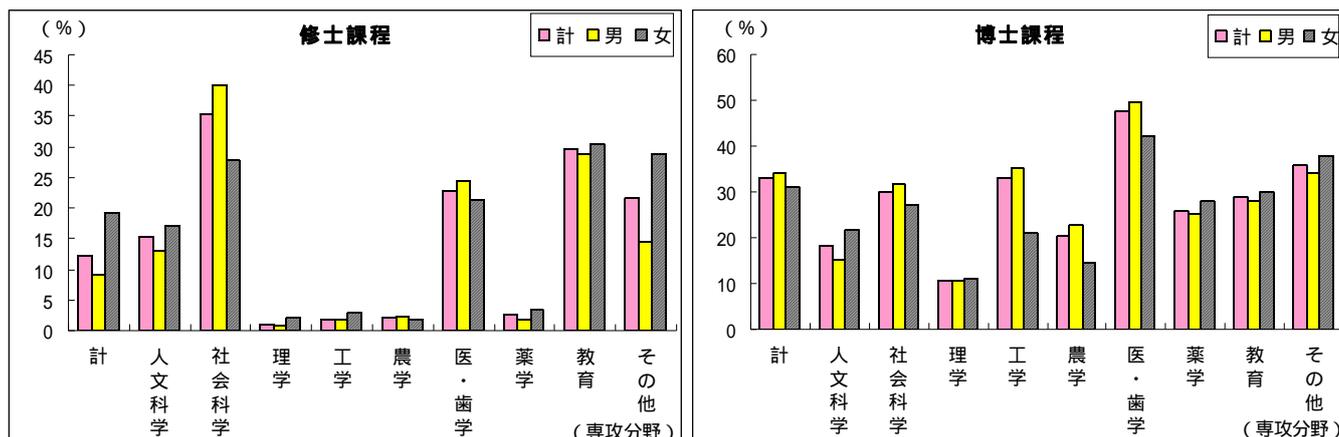
(4) 大学院専門職学位課程

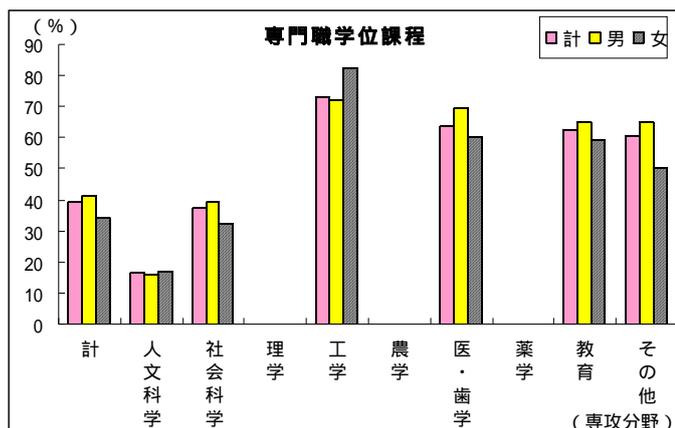
区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
平成10	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

15	100.0	-	86.7	-	-	-	3.4	-	...	-	9.9
16	100.0	-	95.5	-	-	-	0.6	-	...	-	3.9
17	100.0	0.2	95.5	-	0.2	-	0.4	-	...	-	3.6
18	100.0	0.3	94.8	-	0.5	-	0.3	-	...	0.2	3.9
19	100.0	0.5	93.9	-	0.8	-	0.5	-	...	0.3	4.1
20	100.0	0.7	90.7	-	1.0	-	0.6	-	...	3.1	3.9

(注) 大学院修士課程・博士課程・専門職学位課程の「家政」については、「その他」に含まれている。

図2 専攻分野別社会人大学院学生の構成比





(5) 入学状況 (表4, 表5)

ア. 大学(学部)への入学状況

大学学部への入学者数は、60万7千人(国立10万2千人, 公立2万7千人, 私立47万7千人)で、前年度より6千人減少している。

入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した大学の所在地県」との関係を見ると、大学(学部)の入学者のうち、「自県(出身高等学校と同一県)内の大学へ入学した者の比率」は41.2%(前年度より0.2ポイント上昇)となっている。

これを男女別にみると、男子は39.6%(前年度より0.2ポイント上昇)、女子は43.3%(前年度より0.1ポイント上昇)となっている。

イ. 大学院への入学状況

大学院への入学者数は、修士課程では7万7千人(男子5万4千人, 女子2万3千人)で前年度より1百人減少しており、博士課程では1万6千人(男子1万1千人, 女子5千人)で前年度より7百人減少しており、専門職学位課程では9千人(男子7千人, 女子3千人)で前年度より4百人増加している。

修士課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が3万5千人(45.2%)で最も高く、次いで「23歳」2万人(25.8%),「24歳」6千人(8.3%)等の順となっている。

また、修士課程の入学者のうち、「社会人」は8千人(10.7%),「留学生」は7千人(8.5%)である。

博士課程の入学者数を年齢別に見ると、「30~34歳」が3千1百人(19.3%)で最も高く、次いで「24歳」2千5百人(15.6%),「25歳」2千3百人(13.9%)等の順となっている。

また、博士課程の入学者のうち、「社会人」は5千6百人(34.1%),「留学生」は2千3百人(14.3%)である。

専門職学位課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が2千人(20.7%)で最も高く、次いで「23歳」1千6百人(16.9%),「30~34歳」1千2百人(12.8%)等の順となっている。

また、専門職学位課程の入学者のうち、「社会人」は3千8百人(40.1%),「留学生」は2百人(1.9%)である。

専門職学位課程のうち法科大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が1千3百人(24.2%)で最も高く、次いで「23歳」1千1百人(20.9%),「24歳」6百人(10.8%)等の順となっている。

また、今年度より開設された教職大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が2百人(25.1%)で最も高く、次いで「40~44歳」1百人(21.7%),「35~39歳」1百人(14.2%)等の順となっており、入学者のうち「社会人」が59.4%を占めている。

表4 入学状況(大学,大学院)

区分	学部入学状況									大学院入学者数							
	入学者数				自県内入学率			修士課程		博士課程		専門職学位課程					
	計	国立	公立	私立	計	男	女	うち社会人	うち社会人	うち社会人	うち法科大学院	うち法科大学院	うち法科大学院	うち法科大学院			
平成10	590,743	107,311	21,205	462,227	37.1	35.2	40.3	60,241	...	15,491			
15	604,785	103,762	25,153	475,870	39.5	38.2	41.4	75,698	8,182	18,232	3,952	572	490	...			
16	598,331	103,552	25,074	469,705	39.7	38.5	41.6	76,749	8,122	17,944	4,392	7,231	3,630	5,766			
17	603,760	104,130	26,050	473,580	40.1	38.6	42.2	77,557	7,957	17,553	4,709	5,969	3,044	3,516			
18	603,054	104,027	26,935	472,092	40.8	39.3	42.9	77,851	8,161	17,131	5,257	8,899	3,542	5,776			
19	613,613	102,455	26,967	484,191	41.0	39.4	43.2	77,451	8,470	16,926	5,417	9,059	3,328	5,709			
20	607,159	102,345	27,461	477,353	41.2	39.6	43.3	77,396	8,249	16,271	5,552	9,468	3,794	5,393			

表5 大学院の年齢別入学状況

(1) 修士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳~34歳	35歳~39歳	40歳~44歳	45歳~49歳	50歳~54歳	55歳~60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	77,396	323	35,010	19,970	6,462	2,885	1,766	1,183	1,040	812	2,746	1,734	1,293	881	525	490	276	8,249	6,583
男	54,464	204	26,274	15,100	4,540	1,724	1,009	619	565	416	1,508	881	584	372	209	261	198	4,277	3,066
女	22,932	119	8,736	4,870	1,922	1,161	757	564	475	396	1,238	853	709	509	316	229	78	3,972	3,517

(2) 博士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳~34歳	35歳~39歳	40歳~44歳	45歳~49歳	50歳~54歳	55歳~60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	16,271	-	4	92	2,540	2,265	1,559	1,153	1,055	1,045	3,142	1,270	835	587	342	255	127	5,552	2,323
男	11,264	-	3	69	1,925	1,601	1,035	763	697	741	2,242	830	532	346	221	169	90	3,960	1,308
女	5,007	-	1	23	615	664	524	390	358	304	900	440	303	241	121	86	37	1,592	1,015

(3) 専門職学位課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳~34歳	35歳~39歳	40歳~44歳	45歳~49歳	50歳~54歳	55歳~60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	9,468	96	1,961	1,604	812	464	377	329	321	314	1,215	894	536	310	125	79	31	3,794	184
男	6,901	50	1,225	1,167	599	377	281	244	250	240	952	698	413	221	89	66	29	2,939	84
女	2,567	46	736	437	213	87	96	85	71	74	263	196	123	89	36	13	2	855	100

(再掲) 法科大学院

計	5,393	62	1,303	1,127	580	312	240	220	179	174	572	322	134	88	44	29	7	1,462	5
男	3,900	31	797	810	427	262	190	167	137	137	440	250	115	71	34	25	7	1,130	2
女	1,493	31	506	317	153	50	50	53	42	37	132	72	19	17	10	4	-	332	3

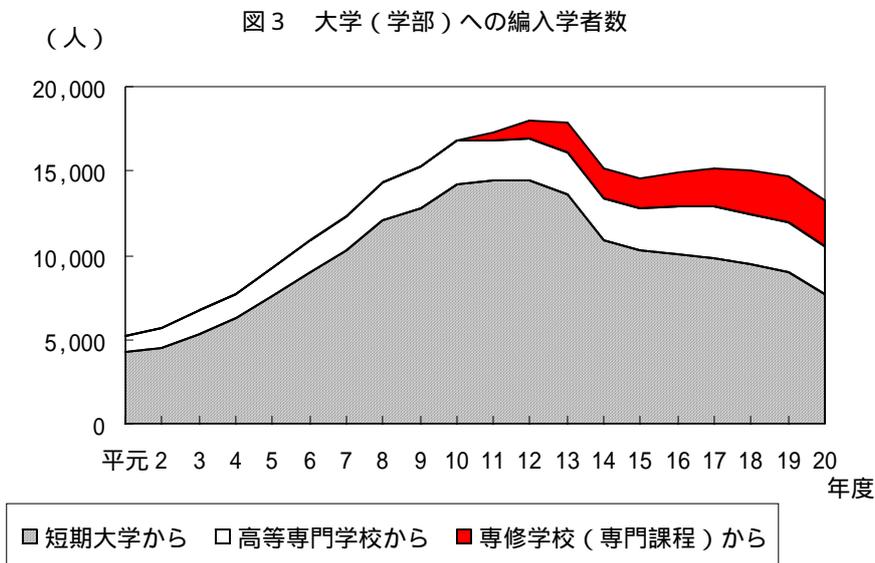
教職大学院

計	641	-	161	79	20	11	8	12	3	6	37	91	139	60	13	1	-	381	1
男	397	-	89	52	13	8	5	8	-	4	22	64	92	36	4	-	-	243	1
女	244	-	72	27	7	3	3	4	3	2	15	27	47	24	9	1	-	138	-

(注) 1. 平成20年5月1日現在の年齢である。
2. (3) 専門職学位課程の入学者数には法科大学院の既修コースへの入学者を含む。

(6) 大学への編入学者数 (図3)

大学(学部)への編入学者数は、短期大学からの編入学者が7千7百人(男子2千3百人, 女子5千4百人), 高等専門学校からは3千人(男子2千5百人, 女子4百人), 専修学校(専門課程)からは2千6百人(男子1千3百人, 女子1千3百人)で前年度より9百人減少している。



(7) 教員数(表6)

教員数は、本務者が17万人(国立6万1千人, 公立1万2千人, 私立9万7千人)で、前年度より2千人増加している。また、兼務者は17万5千人(国立3万5千人, 公立1万3千人, 私立12万7千人)で、前年度より6千人増加している。

表6 本務教員数(大学)

区分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女	人				
平成10	144,310	126,525	17,785	59,557	9,420	75,333	12.3
15	156,155	132,200	23,955	60,882	10,977	84,296	15.3
16	158,770	133,397	25,373	60,897	11,188	86,685	16.0
17	161,690	134,740	26,950	60,937	11,426	89,327	16.7
18	164,473	135,876	28,597	60,712	11,743	92,018	17.4
19	167,636	137,113	30,523	60,991	11,786	94,859	18.2
20	169,912	137,861	32,051	61,014	12,082	96,816	18.9

2 短期大学

(1) 学校数 (表7)

学校数は、417校(国立2校, 公立29校, 私立386校。通信教育のみを行う学校(私立1校)を除く。)で、前年度より17校減少している。

表7 短期大学の設置者別学校数

区分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成10	588	25	60	503	85.5
15	525	13	49	463	88.2
16	508	12	45	451	88.8
17	488	10	42	436	89.3
18	468	8	40	420	89.7
19	434	2	34	398	91.7
20	417	2	29	386	92.6

(2) 学生数 (表8)

学生数は、17万3千人(男子1万9千人, 女子15万4千人)で、前年度より1万4千人減少している。また、学生数のうち本科学生は16万6千人, 専攻科・別科等の学生は6千人となっている。

学生数を設置者別にみると、国立1百人(学生数の0.0%), 公立1万1千人(同6.1%), 私立16万2千人(同93.9%)となっている。

学生数のうち女子学生の占める比率は88.9%で、前年度より0.6ポイント上昇している。

表8 学生数 (短期大学)

区分	計	うち			女子の占める比率	国立	公立	私立
		本科	女子					
	人	人	人	%	人	人	人	
平成10	416,825	407,407	375,372	90.1	9,648	23,254	383,923	
15	250,062	241,408	220,090	88.0	4,515	17,999	227,548	
16	233,754	225,995	204,463	87.5	2,975	16,510	214,269	
17	219,355	212,200	191,131	87.1	1,643	14,347	203,365	
18	202,254	195,233	177,162	87.6	597	11,909	189,748	
19	186,667	179,958	164,910	88.3	184	10,815	175,668	
20	172,726	166,448	153,518	88.9	52	10,565	162,109	

(3) 関係学科別学生の構成 (表9)

本科学生の関係学科別構成比をみると、「教育」が29.8%で最も高く、次いで「家政」(20.8%), 「人文」(12.4%), 「社会」(12.0%)等の順となっている。さらに、その年次推移をみると、「人文」、「家政」の比率は年々低下してきている。

表9 関係学科別学生数の比率の推移（短期大学本科）

区 分	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成10	100.0	24.2	13.2	3.0	4.3	0.8	7.9	23.7	16.2	6.6
15	100.0	15.1	13.4	2.0	4.3	1.1	9.7	22.5	25.6	6.2
16	100.0	14.0	12.8	1.7	4.7	1.1	9.0	21.7	27.7	7.4
17	100.0	13.1	12.3	1.4	4.6	1.0	8.3	21.1	29.6	8.6
18	100.0	12.5	12.2	1.3	4.2	0.8	7.6	21.2	30.7	9.6
19	100.0	12.6	11.9	1.3	3.9	0.7	7.5	21.1	30.4	10.6
20	100.0	12.4	12.0	1.4	3.5	0.8	7.6	20.8	29.8	11.7

(4) 入学状況(表10)

本科への入学者数は7万7千人(公立5千人,私立7万3千人)で,前年度より7千人減少している。

入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した短期大学の所在地県」との関係を見ると,本科の入学者のうち,「自県(出身高校と同一県)内の短期大学へ入学した者の比率」は63.7%で,前年度より0.4ポイント上昇している。

これを男女別にみると,男子は55.2%(前年度より0.7ポイント上昇),女子は64.7%(前年度より0.3ポイント上昇)となっている。

表10 入学状況(短期大学本科)

区 分	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率		
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女
	人	人	人	人	%	%	%
平成10	191,430	2,774	9,524	179,132	58.0	51.8	58.7
15	113,029	983	7,215	104,831	60.4	50.4	61.7
16	106,204	309	6,606	99,289	61.1	52.4	62.3
17	99,431	300	5,451	93,680	61.9	52.6	63.2
18	90,740	-	4,708	86,032	63.1	55.6	64.1
19	84,596	-	4,724	79,872	63.3	54.5	64.4
20	77,339	-	4,697	72,642	63.7	55.2	64.7

(5) 教員数(表11)

教員数は,本務者が1万1千人(公立1千人,私立1万人)で,前年度より5百人減少している。また,兼務者は2万4千人(国立2百人,公立1千人,私立2万2千人)で,前年度より1千人減少している。

表11 本務教員数(短期大学)

区 分	計			国立	公立	私立	女子教員 の比率
	男	女	人				
	人	人	人	人	人	人	%
平成10	19,040	11,092	7,948	888	2,133	16,019	41.7
15	13,534	7,290	6,244	368	1,610	11,556	46.1
16	12,740	6,842	5,898	240	1,418	11,082	46.3
17	11,960	6,392	5,568	244	1,209	10,507	46.6
18	11,278	5,915	5,363	74	1,031	10,173	47.6
19	11,022	5,682	5,340	-	941	10,081	48.4
20	10,524	5,381	5,143	-	803	9,721	48.9

3 高等専門学校（表12）

（1）学校数

学校数は、64校（国立55校、公立6校、私立3校）で前年度と同数である。

（2）学生数

学生数は、5万9千人（国立5万3千人、公立4千人、私立2千人）で前年度より1百人増加している。このうち女子学生（9千人）の占める比率は15.6%で、前年度より0.2ポイント低下している。

（3）入学者数

入学者数は、1万1千人（男子9千人、女子2千人）で前年度より2百人増加している。

（4）教員数

教員数は、本務者が4千4百人（男子4千2百人、女子3百人）で、前年度とほぼ同数となっている。また、兼務者は2千2百人（男子1千8百人、女子4百人）となっている。

表12 学校数、学生数等の推移（高等専門学校）

区分	学校数（校）				学生数（人）				入学者数（人）				教員数 （本務者） （人）
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
平成10	62	54	5	3	56,214	49,326	4,497	2,391	11,306	9,906	938	462	4,408
15	63	55	5	3	57,875	50,974	4,650	2,251	11,335	9,937	932	466	4,474
16	63	55	5	3	58,698	51,729	4,673	2,296	11,572	10,162	928	482	4,473
17	63	55	5	3	59,160	52,210	4,594	2,356	11,345	10,053	849	443	4,469
18	64	55	6	3	59,380	52,587	4,493	2,300	11,330	10,120	767	443	4,471
19	64	55	6	3	59,386	52,833	4,349	2,204	11,112	10,142	567	403	4,453
20	64	55	6	3	59,446	53,162	4,162	2,122	11,288	10,112	754	422	4,432

（注）「学生数」には、本科の学生のほか専攻科及び聴講生・研究生等の学生を含む。

4 大学・大学院・短期大学の通信教育（表13）

（1）学校数

通信による教育を行う大学は51校（うち通信制の学部を置く大学41校、大学院を置く大学25校）、短期大学は10校で、前年度より大学は1校増加（通信制の大学院を置く大学は2校増加）し、短期大学は1校増加している。

（2）学生数

学生数は大学23万人（男子9万6千人、女子13万4千人）、大学院9千人（男子5千人、女子3千人）、短期大学2万3千人（男子6千人、女子1万6千人）で、前年度より大学は1万人、大学院は2百人、短期大学は3千人それぞれ減少となっている。

正規の課程の学生数は大学18万6千人（男子7万7千人、女子10万9千人）、大学院4千人（男子2千3百人、女子1千4百人）、短期大学2万1千人（男子6千人、女子1万5千人）で、前年度より大学は8千人、大学院は2百人、短期大学は3千人それぞれ減少している。

正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が27.4%で最も高く、次いで「教育」16.4%等の順となっている。また、大学院修士課程では「社会科学」が17.5%で最も高く、次いで「人文科学」15.1%の順、大学院博士課程では「人文科学」が17.2%で最も高く、次いで「教育」が14.7%の順となっている。短期大学では「教育」が62.9%で最も高く、次いで「社会」が24.7%の順となっている。

(3) 入学者数(正規の課程)

正規の課程の入学者数は大学1万1千人(男子5千人,女子6千人),大学院1千3百人(男子8百人,女子5百人),短期大学3千6百人(男子9百人,女子2千6百人)で,前年度より大学は1千5百人,短期大学は8百人それぞれ減少し,大学院は1百人増加している。

表13 学校数,学生数,入学者数及び教員数(本務者)の推移
(大学・大学院・短期大学[通信教育])

区分	大 学							大 学 院						
	学 校 数			学生数	うち正規の課程	入学者数	教員数 (本務者)	学 校 数			学生数	うち正規の課程	入学者数	教員数 (本務者)
	計	私立 <small>通信教育部を置くもの (放送大学 学園立を除く)</small>	放送大学 学園立					計	私立 <small>通信教育部を置くもの (放送大学 学園立を除く)</small>	放送大学 学園立				
平成10	校	校	校	人	人	人	人	校	校	校	人	人	人	人
	17	16	1	217,969	168,889	12,004	120
15	31	30	1	234,635	191,333	13,498	266	(11)4	4	(1)	14,036	2,574	1,191	43
16	33	32	1	241,615	196,648	14,200	379	(12)6	6	(1)	9,767	3,024	1,255	50
17	35	34	1	246,029	200,393	14,090	350	(12)7	7	(1)	9,634	3,330	1,228	63
18	36	35	1	245,167	198,483	13,896	370	(12)7	7	(1)	9,483	3,521	1,235	68
19	40	39	1	240,076	193,573	12,978	458	(15)8	8	(1)	8,820	3,628	1,288	72
20	41	40	1	229,734	185,719	11,452	493	(15)10	10	(1)	8,649	3,793	1,344	88

区分	短 期 大 学				
	学校数	学生数	うち正規の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成10	校				
	10	34,974	33,718	8,563	48
15	10	24,558	22,980	4,652	32
16	9	26,778	25,215	5,679	16
17	9	28,424	26,773	5,842	45
18	8	28,456	26,929	5,532	31
19	9	25,227	23,796	4,375	34
20	10	22,622	21,130	3,560	39

(注) 1. 大学・大学院の「学校数」の放送大学学園立の大学・大学院は平成16年度より私立に計上している。
2. 大学院の「学校数」の()内は大学の「学校数」の再掲である。

[卒業後の状況調査]

1 大学(学部)卒業生(図4, 5, 表14)

(1) 卒業生数

平成20年3月に大学(学部)を卒業した者(年度途中の卒業生を含む。以下同じ。)は、55万5千人(男子32万人,女子23万6千人)で前年度より4千人減少している。

これを設置者別にみると、国立10万3千人(前年より1百人増)、公立2万4千人(4百人増)、私立42万8千人(4千人減)となっている。

(2) 卒業生の進路

卒業生を進路別にみると、「大学院等への進学者」(就職し、かつ進学した者を含む。以下同じ。)6万7千人(全卒業生数の12.1%)「就職者」(就職し、かつ進学した者を除く。)38万8千人(同69.9%)、「臨床研修医」(予定者を含む。以下同じ。)9千人(同1.6%)、「専修学校・外国の学校等入学者」9千人(同1.6%)、「一時的な仕事に就いた者」1万1千人(同2.1%)、「左記以外の者」6万人(同10.8%)、「死亡・不詳の者」1万1千人(同1.9%)となっている。

ア. 進学状況

大学院等への進学者数は6万7千人(男子5万人,女子1万8千人)で、前年より1百人増加している。

進学率(卒業生のうち大学院等への進学者及び就職し、かつ進学した者の占める比率。以下同じ。)は12.1%(男子15.5%,女子7.5%)で、前年より0.1ポイント上昇している。

イ. 就職状況

就職者総数(「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。)は、38万8千人(男子21万2千人,女子17万6千人)で、前年より1万人増加している。

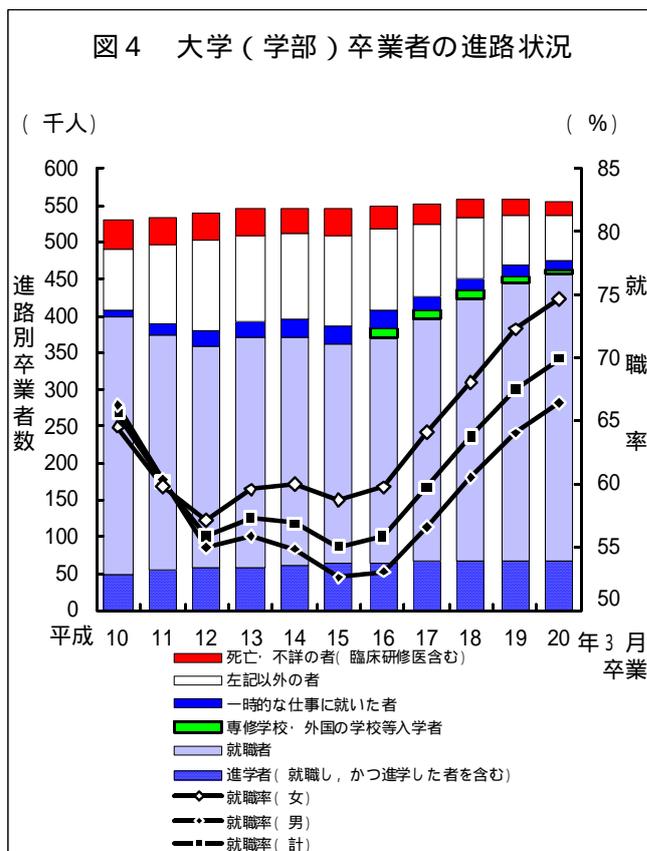
就職率(卒業生数のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。)は、69.9%(男子66.4%,女子74.6%)で、前年より2.3ポイント上昇している。

就職率を関係学科別にみると、「家政」が82.5%で最も高く、次いで「社会科学」77.7%、「人文科学」72.9%等の順となっている。

就職者総数を産業別にみると、「卸売業,小売業」が17.2%で最も高く、次いで「製造業」16.1%、「金融業,保険業」11.4%、「情報通信業」10.0%、「医療,福祉」8.0%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「製造業」20.2%、「卸売業,小売業」17.7%、「情報通信業」11.9%等の順となっており、女子は「卸売業,小売業」16.7%、「金融業,保険業」14.3%、「医療,福祉」13.4%等の順となっている。

図4 大学(学部)卒業生の進路状況



就職者総数を職業別にみると、「事務従事者」が33.2%で最も高く、次いで「専門的・技術的職業従事者」32.8%（うち技術者17.1%、教員4.0%等）、「販売従事者」23.0%等の順となっている。

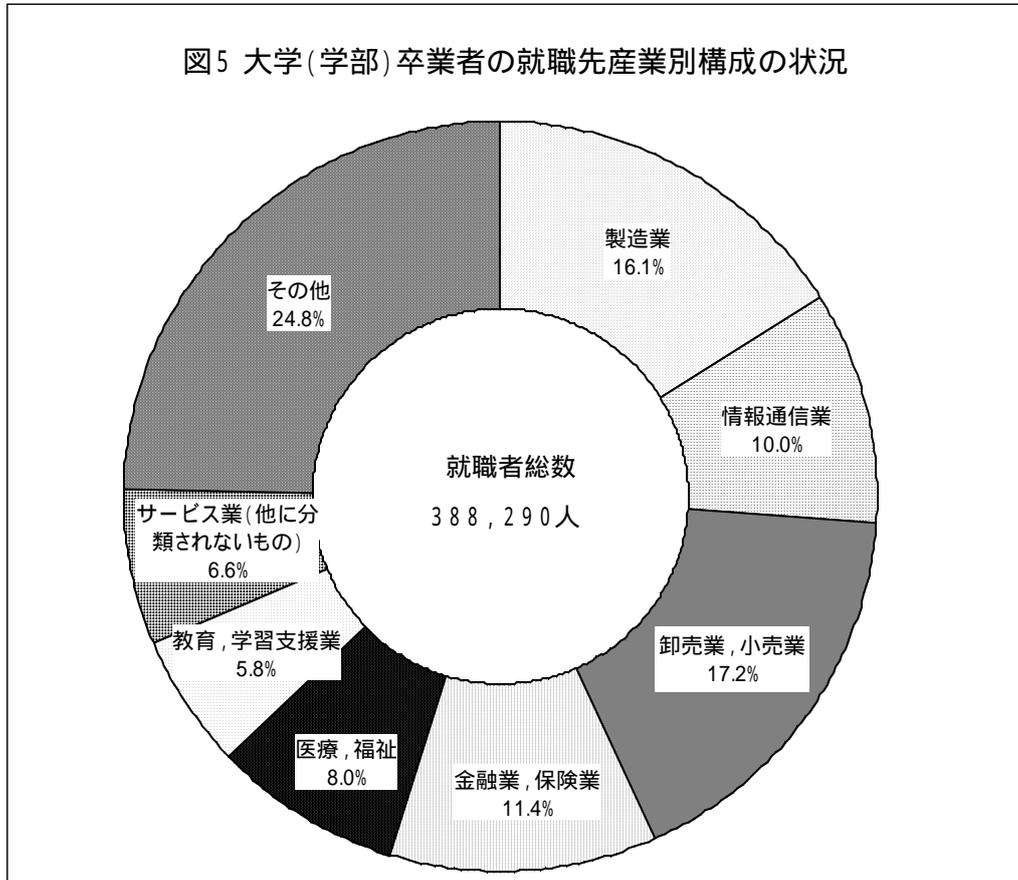
また、男女別にみると、男子は「専門的・技術的職業従事者」33.8%（うち技術者25.3%、教員2.5%等）、「事務従事者」27.8%、「販売従事者」26.2%等の順となっており、女子は「事務従事者」39.8%、「専門的・技術的職業従事者」31.7%（うち保健医療従事者11.4%、技術者7.3%、教員5.9%等）、「販売従事者」19.3%等の順となっている。

表14 進路別卒業生の推移（大学[学部]）

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	臨床 研修医 (予定者 を含む)	専修学校・ 外国の学校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	死亡・不詳 の者	(再掲)左記 「進学者」の うち就職して いる者(d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
											計	男	女
平成10年3月	529,606	49,706	347,549	6,632	...	11,957	81,711	32,051	13	9.4	65.6	66.2	64.5
15	544,894	62,251	299,925	8,184	...	25,255	122,674	26,605	62	11.4	55.1	52.6	58.8
16	548,897	64,610	306,338	8,049	12,412	24,754	110,035	22,699	76	11.8	55.8	53.1	59.7
17	551,016	66,108	329,045	7,903	12,061	19,507	97,994	18,398	80	12.0	59.7	56.6	64.1
18	558,184	67,298	355,778	9,293	12,039	16,659	82,009	15,108	42	12.1	63.7	60.5	68.1
19	559,090	67,175	377,734	9,105	9,990	13,287	69,296	12,503	42	12.0	67.6	64.0	72.3
20	555,408	67,288	388,227	8,851	8,971	11,485	59,785	10,801	63	12.1	69.9	66.4	74.6

- (注) 1 「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者である。
 2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかな者である。

図5 大学(学部)卒業生の就職先産業別構成の状況



2 大学院修了者（図6，7）

（1）修了者数

平成20年3月に大学院の修士課程を修了した者は、7万4千人（男子5万2千人，女子2万2千人）で前年より2百人減少している。博士課程を修了した者（所定の単位を修得し，学位を取得せずに満期退学した者を含む。以下同じ。）は1万6千人（男子1万2千人，女子4千人）で前年より5百人減少している。また，専門職学位課程を修了した者は，8千人（男子5千8百人，女子2千2百人）で，前年より1千3百人増加している。

これを設置者別にみると，修士課程では国立4万3千人（修了者の57.6%），公立4千人（同5.6%），私立2万7千人（同36.8%）となっており，博士課程では国立1万1千人（修了者の70.6%），公立1千人（同4.9%），私立4千人（同24.5%）となっている。また，専門職学位課程では，国立2千人（修了者の30.9%），公立2百人（同1.9%）私立5千人（同67.2%）となっている。

（2）修了者の進路

ア．修士課程

修了者の進路別内訳は，「大学院等への進学者」8千人（修了者の10.7%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5万5千人（同74.8%），「左記以外の者」7千人（同9.7%），「死亡・不詳の者」2千人（同2.9%）となっている。

進学率は10.7%（男子10.5%，女子11.4%）で，前年より0.7ポイント低下している。

就職率は75.1%（男子79.5%，女子64.6%）で，前年より2.6ポイント上昇している。

就職者総数を産業別にみると，「製造業」が46.6%と最も高く，次いで「情報通信業」10.1%，「教育，学習支援業」8.9%，「医療，福祉」4.9%，等の順となっている。

就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」が76.9%（うち技術者55.4%，教員6.9%，科学研究者5.8%等）で最も高く，次いで「事務従事者」12.5%，「販売従事者」3.0%等の順となっている。

イ．博士課程

修了者の進路別内訳は，「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）1万人（修了者の62.9%），「左記以外の者」3千人（同20.6%），「死亡・不詳の者」2千人（同9.6%）等となっている。

就職率は63.2%（男子66.4%，女子55.0%）で，前年より4.4ポイント上昇している。

就職者総数を産業別にみると，「教育，学習支援業」が33.7%で最も高く，次いで「医療，福祉」23.7%，「製造業」16.3%等の順となっている。

就職者総数を職業別にみると，「教員」24.8%，「科学研究者」23.9%，「医師，歯科医師，獣医師，薬剤師」22.0%，「技術者」17.5%等「専門的・技術的職業従事者」が92.2%を占めている。

ウ．専門職学位課程

修了者の進路別内訳は，「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）2千4百人（修了者の30.3%），「左記以外の者」4千6百人（同56.7%），「死亡・不詳の者」6百人（同7.1%）等となっている。

就職率は30.5%（男子32.5%，女子25.2%）で，前年より3.9ポイント上昇している。

就職者総数を産業別にみると，「製造業」が20.7%と最も高く，次いで「学術研究，専門・技術サービス業」11.1%，「情報通信業」9.8%等の順となっている。

就職者総数を職業別にみると，「事務従事者」が44.8%と最も高く，次いで「専門的・技術的職業従事者」27.4%（うち技術者12.8%，教員3.3%等），「管理的職業従事者」10.0%等の順となっている。

図6 大学院（修士課程）修了者の進路状況

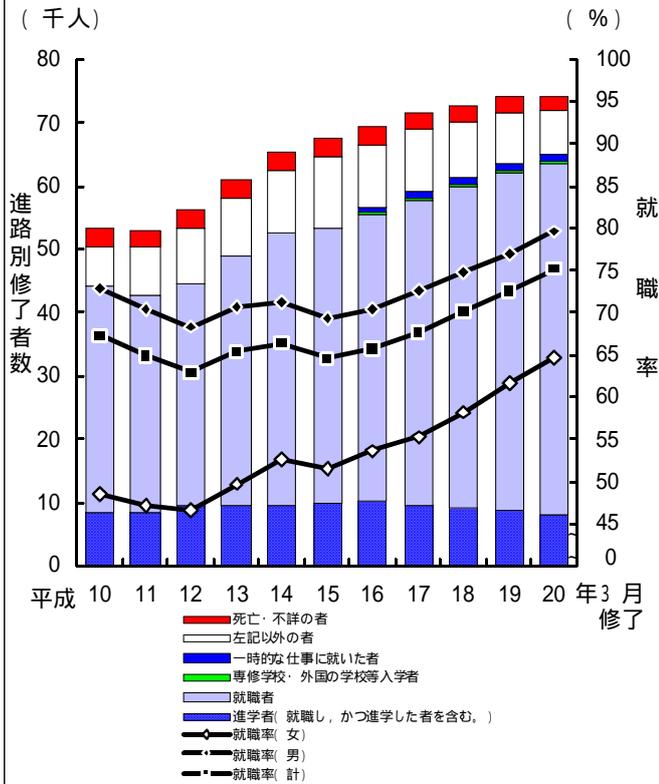
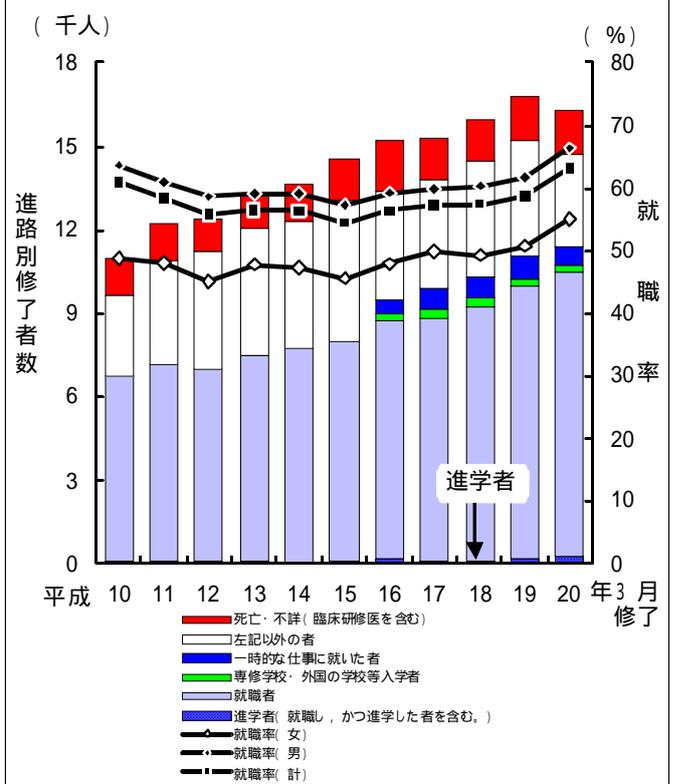


図7 大学院（博士課程）修了者の進路状況



3 短期大学卒業生（図8, 9, 表15）

(1) 卒業生数

平成20年3月に短期大学（本科）を卒業した者は8万4千人（男子9千人，女子7万5千人）で，前年より8千人減少している。

これを設置者別にみると，国立1百人（前年より2百人減），公立5千人（前年より8百人減），私立7万9千人（前年より7千4百人減）となっている。

(2) 卒業生の進路

卒業生の進路別内訳は，「大学等への進学者」（就職し，かつ進学した者を含む。以下同じ。）9千人（全卒業生の11.3%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）6万人（同72.0%），「専修学校・外国の学校等入学者」2千人（同2.2%），「一時的な仕事に就いた者」3千人（同3.8%），「左記以外の者」8千人（同10.0%），「死亡・不詳の者」5百人（同0.6%）となっている。

ア．進学状況

大学等への進学者数は9千人（男子2千人，女子7千人）で，前年より1千5百人減少している。

進学率（卒業者のうち大学等への進学者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は11.3%（男子24.8%，女子9.7%）で，前年より0.7ポイント低下している。

イ．就職状況

就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は6万人（男子5千人，女子5万5千人）で，前年より4千人減少している。

就職率（卒業者のうち就職者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は72.0%（男子55.8%，女子74.0%）で，前年より1.8ポイント上昇している。

就職率を関係学科別にみると，「教育」が81.7%で最も高く，次いで「保健」78.3%，「教養」75.8%等の順となっている。

就職者総数を産業別にみると，「医療，福祉」が37.8%で最も高く，次いで「卸売業，小売業」14.7%，「教育，学習支援業」13.3%，「製造業」8.2%等の順となっている。

就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」54.1%（うち保健医療従事者15.1%，教員11.4%等）で最も高く，次いで「事務従事者」23.9%，「販売従事者」11.4%等の順となっている。

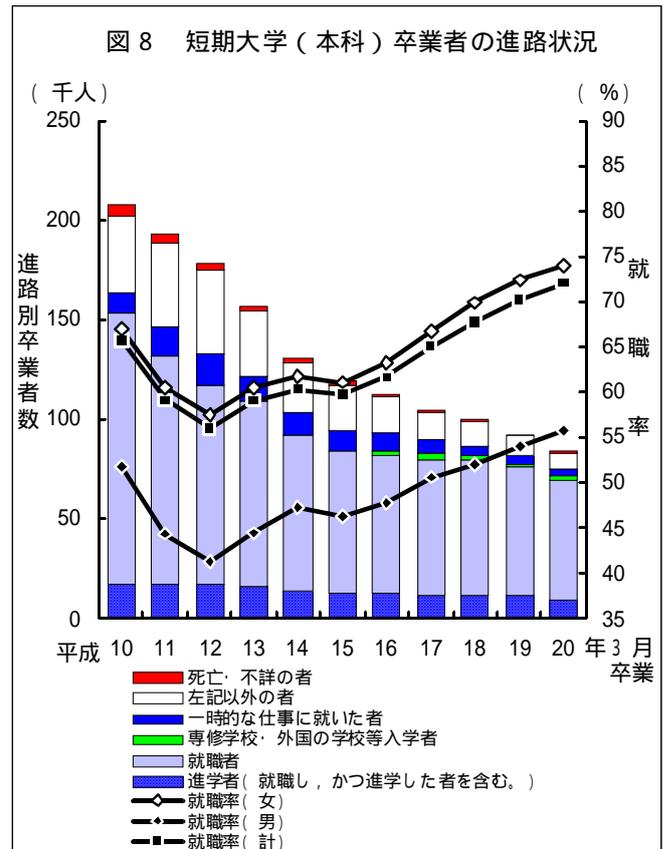
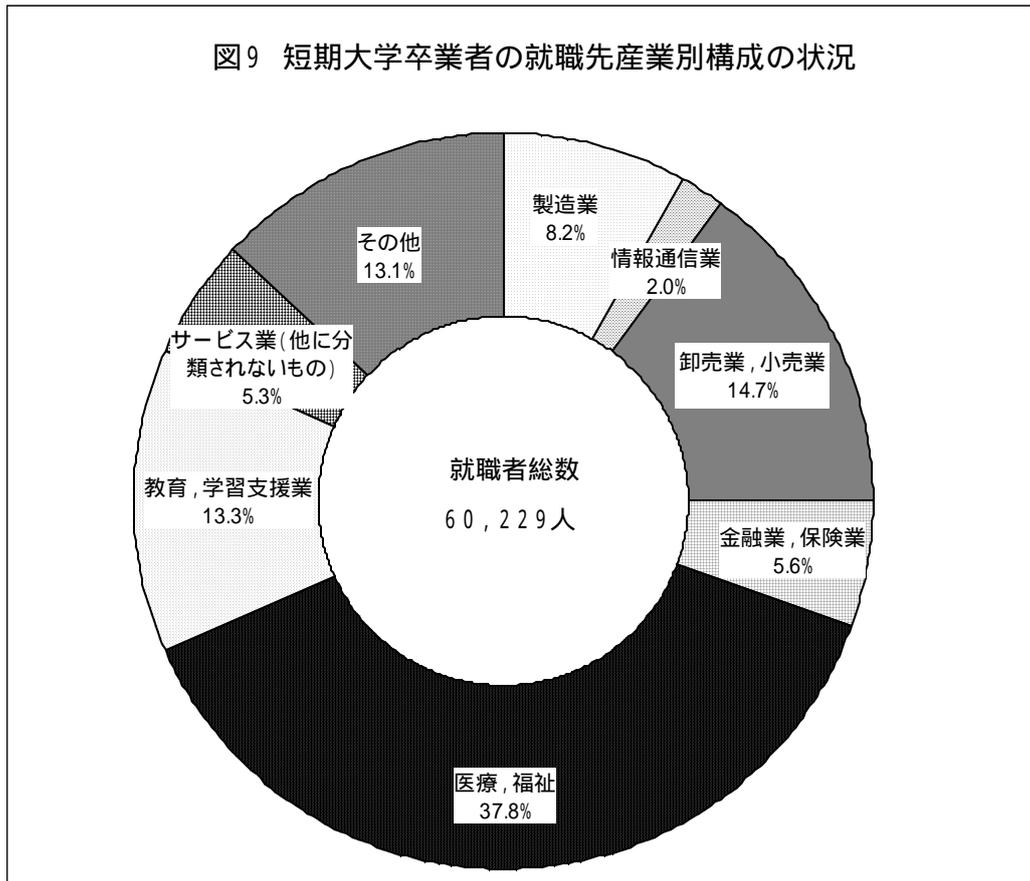


表 1 5 進路別卒業生の推移（短期大学〔本科〕）

区 分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・ 外国の学校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	死亡・不詳 の者	(再掲)左記 「進学者」の うち就職して いる者(d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
										計	男	女
平成10年3月	人 207,528	人 16,680	人 136,346	人 ...	人 10,476	人 38,586	人 5,440	人 43	% 8.0	% 65.7	% 51.7	% 67.0
15	119,151	13,238	71,130	...	9,968	23,085	1,730	16	11.1	59.7	46.4	61.1
16	112,006	12,502	69,022	2,886	8,521	17,709	1,366	7	11.2	61.6	47.7	63.2
17	104,621	12,043	68,023	2,990	6,655	13,829	1,081	12	11.5	65.0	50.6	66.8
18	99,611	11,678	67,476	2,579	5,177	11,899	802	4	11.7	67.7	52.1	69.8
19	92,100	11,026	64,623	2,120	4,285	9,452	594	-	12.0	70.2	54.0	72.3
20	83,653	9,484	60,228	1,853	3,215	8,393	480	1	11.3	72.0	55.8	74.0

(注) 1 「進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者である。
 2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが
 明らかな者である。



4 高等専門学校卒業生（図10，表16）

（1）卒業生数

平成20年3月に高等専門学校を卒業した者は1万人（男子8千5百人，女子1千7百人）で，前年とほぼ同数となっている。

これを設置者別にみると，国立8千9百人，公立8百人，私立4百人となっている。

（2）卒業生の進路

卒業生の進路別内訳は「大学等への進学者」4千3百人（全卒業生数の42.5%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5千5百人（同54.1%），「左記以外の者」2百人（同1.9%）等となっている。

ア．進学状況

大学等への進学者数は4千3百人（男子3千8百人，女子5百人）で，前年より1百人増加している。

進学率は，42.5%（男子44.7%，女子31.1%）で，前年より0.8ポイント上昇している。

イ．就職状況

就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ）は5千5百人（男子4千4百人，女子1千1百人）で，前年とほぼ同数となっている。

就職率は54.2%（男子52.2%，女子64.4%）で，前年より0.1ポイント低下している。

就職者総数を産業別にみると，「製造業」が56.0%と最も高く，次いで「情報通信業」10.6%，「建設業」8.2%，「運輸業，郵便業」6.4%等の順となっている。

就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」92.3%（うち技術者90.5%等）が最も高く，次いで「運輸・通信従事者」2.9%，「サービス職業従事者」1.4%等の順となっている。

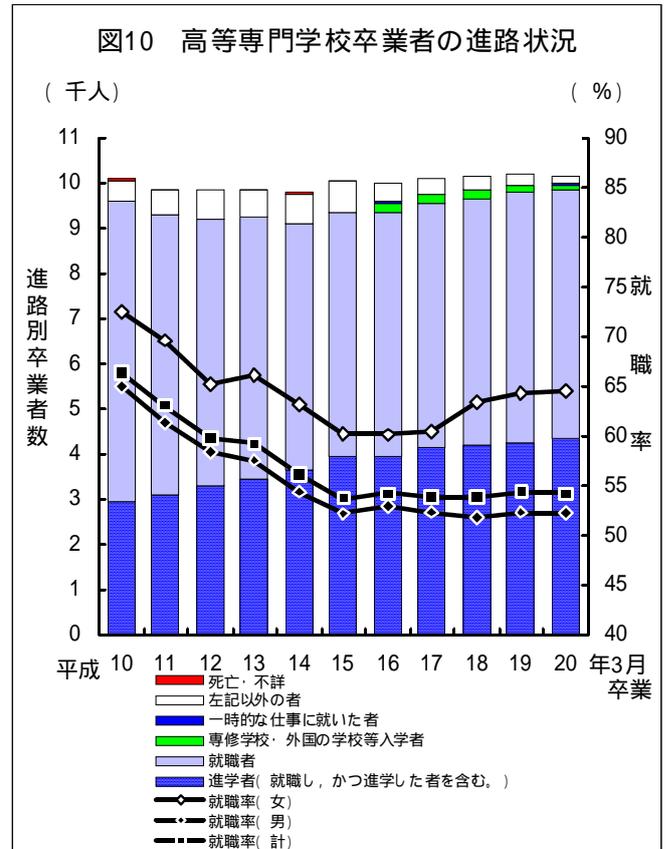


表 1 6 進路別卒業者の推移（高等専門学校）

区 分	計 (a)	大学等へ の進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・ 外国の学校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	死亡・不詳 の者	(再掲)左記 「進学者」の うち就職して いる者(d)	進学率 (b/a) × 100	就職率 (c+d)/a × 100
	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%
平成10年3月	10,077	2,927	6,675	451	24	1	29.0	66.2
15	10,056	3,938	5,392	704	22	1	39.2	53.6
16	10,011	3,929	5,422	199	16	445	-	-	39.2	54.2
17	10,061	4,113	5,413	192	6	337	-	2	40.9	53.8
18	10,140	4,201	5,455	174	2	308	-	2	41.4	53.8
19	10,207	4,252	5,546	159	5	244	1	-	41.7	54.3
20	10,159	4,316	5,501	146	2	194	-	1	42.5	54.2

(注) 1 「大学等への進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ進学した者である。

2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかな者である。